

平成 31 年(2019) 2 月 7 日

トラスコ中山株式会社
証券コード 9830 (苦は去れ)

トラスコ中山株式会社

平成 30 年 12 月期 (第 56 期) 決算説明会



2019 年 5 月 15 日(水)
おかげさまで創業 60 周年を迎えます。

2019 年度（第 57 期）の取組みとご報告

1、「それは、お客様の売上拡大に繋がっているのか？」

- ・ 私たちがお客様に、ユーザー様に提供すべきは、業界最高の利便性です。
トラスコの売上拡大にしか目が向いていないのならそれは間違っています。
熱意で取った商売は、熱意で取りかえされます。「取った、取られた、プラマイゼロ」。
注文を取ることもよりお客様の事業をどう繁栄させていけるかを考えていきます。
- ・ 理想の評判は「出来ればトラスコから買いたくないが、買わざるを得ない」です。
トラスコ中山が好きだから取引する、というお客様なら、何らかの理由で好きでなくなったら取引が終わってしまいます。
「出来れば買ってやろう」発想は、どこの誰でも思いつくフツウの発想であり、風見鶏経営、ご機嫌伺い営業となってしまいます。
「出来ればトラスコからモノを買ってやろう」と仰っていただけるように努力するのは「買いたくないが、買うしかない」企業を作り上げてからのことだと考えています。あらゆるサービスを完璧にこなしてこそ言える理想であり、中途半端では本当に買ってもらえなくなりますので、業界最高の利便性を追求していきます。

2、トピックス

(1)2018 年度「ポーター賞」受賞



受賞式では一橋大学大学院 楠木建 教授と対談

2018 年度受賞企業・事業は 4 社(敬称略)

トラスコ中山株式会社／株式会社 MonotaRO／保険の窓口グループ
株式会社／RIZAP 株式会社ボディメイク事業部

当社はお客様の利便性が向上するためには何をすべきかを考え、少量調達・即日納品ニーズにお応えするための取組みを強化してきました。その中で、あえて在庫を増やし続ける継続的な在庫拡充戦略や、その在庫を即納でお届けできる物流体制などが、「トラスコなら在庫がある」との信頼を得ており、販売価格のみに訴求されない独自の取組みとして評価されました。

【主な受賞理由】

- ①間接資材の卸売業界随一の取扱商品数と在庫点数を誇り、幅広い間接資材をワンストップ且つ短納期で入手できる利便性を提供している。
 - ・取扱アイテムは 2,477 メーカーの約 186 万点を扱っている。
 - ・全国 22 か所の物流センターに最大 37 万 4,600 点を在庫している。
 - ・顧客から受けた注文のうち在庫から出荷できた割合は 89.9%。(在庫回転率より在庫出荷率)

- ②顧客である小売業者はトラスコ中山を利用することで、在庫保有・管理に伴う資本や手間をかけずに在庫削減と品揃え強化を同時に実現することができる。
- ・注文頻度の低いロングテール商品も在庫している。
 - ・自社の物流システムを構築することで、お客様に1日2便の定期便でドライバー1本からでも即日、翌日に配達できる体制を持っている。
- ③顧客である小売業者の運営支援ができる。
- ・Eコマースを運営する顧客とは、システム連携をしている。
 - ・約173万点に及ぶ商品データベースを提供し、リアルタイム在庫連携、ユーザー直送への取組みも強化している。

【ポーター賞とは】

日本企業の競争力を向上させることを目的とした賞で、2001年7月に創設、今回で18回目の開催となる。製品、プロセス、経営手腕においてイノベーションを起こし、独自性がある戦略を実行し、業界において高い収益性を達成・維持している日本企業や事業部を表彰。賞名はハーバード大学のマイケル・E・ポーター教授に由来しています。

運営組織：一橋ビジネススクール国際企業戦略専攻（一橋ICS）。

(2) 常勤取締役4名増員の理由

成長スピードを加速するために、経営管理本部、情報システム本部、商品本部、物流本部の本部長4名を取締役候補者としてしました。3月8日の定時株主総会で選任予定です。

【主な増員理由】

- ①これまでは常勤取締役3名でしたが、行事やイベント等が重なると物理的に厳しいということ。
- ②役員・執行役員は、文字で見ると2文字違いだが、置かれる環境は大違いであるということ。
執行役員は社員の延長上であり、解雇されることはありません。それに対して役員は、任期一年で毎年の株主総会で審判を受けます。このような立場の違いがある中で、「会社の将来や機能を高めるためにどうすべきか」という立場で経営を考える人間は、多い方が良いためです。
- ③常勤取締役3名だけでは競争意識が働かない、牽制も効かないということ。
常勤取締役が3名しかいないと、自分は解雇されることは無いだろうと高を括ってしまうものです。第57期は一旦7名となりますが、第57期末の株主総会を以て専務の中井が退任となるため、その後は6名となります。

(3) 2019年4月 トラスコ中山健康保険組合 設立

「社員が長く安心して働ける企業を目指して」

人生を預かる企業として、社員・家族の健康に責任を持ちたいという想いから、当社単一の健康保険組合を設立します。

- ・社員が長く安心して働き続けられるよう、当社に合った疾病予防に繋がる取組みを更に充実させたい。
- ・自分たちの健康保険組合であると身近な存在に感じられることで、より健康管理を意識してほしい。



健康保険組合のオフィスで担当社員と



トラスコ中山健康保険組合の保険証

第 56 期リセットプラン 2 のご報告及び第 57 期設備投資に関するご説明**1、リセットプラン 2 の取り組みと効果について****(1) 全社の業務見直し、仕事量の見える化の推進**

- ・業務の見直しと仕事量の見える化により、全社（本社、物流、支店）におけるムダな仕事と残業代の削減を目的に取り組みました。

本社、支店においては4月以降前年を下回り約▲2,000 万円となりました。物流部門では前年に比べ残業代は増加したもののコントロールが効いたことにより、約 130%に高まっていた残業代は約 120%に抑制できました。結果、前年比 118%で推移していた全社の残業代は約 6%(+5,000 万円)の増加に抑えることができました。

(2) 従業員の採用見直し

- ①社員の中途採用を原則中止しました。（中途採用した17名はP埼玉要員で、前年比▲27名）
- ②パートタイマーの採用見直し。（前年比 62 名増加で、うち 43 名は P 埼玉要員）

(3) 社内会議と社内研修の見直し

ボスコン（全国責任者会議）を中止したことにより約▲2,000 万円削減。

エリア、ブロック会議など多くの社員移動の伴う会議等の運営を見直しました。

各種集合研修も集約したことにより▲600 万円の削減。

(4) 配送コストの見直し

出荷量の増加や運送会社からの値上げ要請により、費用の増加傾向が続いていたため、各地域における配送ルートの適正化を進めました。その結果、配送効率の見直しが進み費用の大幅増加を抑制できました。

第 56 期中に徐々に適正化を進めたため、配送費実績への影響は微小であるが、配送効率の向上を引き続き図ります。

（参考）配達便数 5 月時点 308 台 → 12 月末時点 293 台（△15 台）

2、第 56 期の設備投資実績と、第 57 期（今期）の主な設備投資予定額

（単位：百万円）

主な設備投資 内訳		総投資 予定額	第56期 投資実績額	第57期 投資予定額
建物	ブラネット埼玉 建物・設計	13,473	3,054	－
	ブラネット南関東 建替	8,784	2,853	4,884
	ブラネット東北 増築	4,050	854	3,196
	ブラネット北関東 増築	1,178	328	794
主な建物合計			7,089	8,874
設備	ブラネット埼玉（自動倉庫/SAS/GAS/パトラー/オートストア/I-Pack等）	3,241	2,541	700
	ブラネット東北（バケット自動倉庫/SAS/GAS/オートストア/I-Pack等）	3,022	－	516
	ブラネット南関東（バケット自動倉庫/SAS/オートストア/ケースCV/電動パレットラック等）	2,338	646	1,692
	ブラネット東海（自動倉庫/SAS/GAS）	1,137	450	687
	ブラネット東関東（バケット自動倉庫/SAS/GAS）	899	500	399
	ブラネット神戸（バケット自動倉庫/SAS/GAS/電動パレットラック 等）	864	－	864
	ブラネット北関東（オートストア/パレット自動倉庫）	669	442	130
	ブラネット滋賀（バケット自動倉庫/電動パレットラック）	261	20	241
主な設備合計			4,599	5,229
システム	パラダイスリプレイス（受発注システム）	3,289	869	1,620
	ECサイトリプレイス（トラスコ オレンジブック.Com）	1,426	1,426	－
	AIオレンジレスキュー（商品検索システム）	289	157	132
主なシステム合計			2,452	1,752
土地	西日本物流センター（大和郡山） 土地	2,853	－	151
	ブラネット愛知（北名古屋） 土地	1,831	140	296
	ブラネット北海道 土地	1,110	1,110	－
	高松支店 土地	250	250	－
主な土地合計			1,500	447
その他		－	1,506	3,710
合計			17,146	20,012

3、プラネット埼玉の稼働状況のご報告

開設:2018年10月1日(月)
住所:埼玉県幸手市
敷地面積:14,297 坪
延床面積:12,915 坪
構造:4階建、免震構造
他設備:託児所・社員食堂を設置
総投資額:200億円(土地+建物+設備など)
在庫予定アイテム数:50万アイテム
従業員数:92名(正社員49名、パートタイマー43名)
出荷能力:最大50,000件/日
入荷能力:最大10,000件/日



導入済設備:
バケット自動倉庫／パレット自動倉庫／
電動パレットラック／システムストリーマー(SAS)／
ゲートアソートシステム(GAS)／無人搬送車(AGV)
／ボックスオンデマンドシステム(BOD)／
自動梱包機(I-Pack)

※AutoStore(オートストア)、Butler(バトラー)
は2019年10月稼働予定。

プラネット埼玉の特徴

- (1)50万アイテム以上を保有できる当社最大規模のセンター。
- (2)マテハン機器の導入を前提として設計されており、出荷効率・収納効率が高く、
売上高3,000億円に向けた出荷能力の増強が可能となる。
- (3)フルラインナップの在庫を保有し、効率的に出荷できるマテハン設備を導入しました。
ネット通販企業様向けなど様々なお客様に向けて出荷している路線便出荷を集約し、納期を短縮。
- (4)フリーロケーションシステムを初導入。(住所不定在庫管理システム)
倉庫内の空間を容積管理し、高密度収納の推進を図る。
- (5)太陽光発電で消費電力の大部分をカバー、免震設備も導入し災害などの有事にも対応。
- (6)託児所と食堂を設置。保育士、調理師、栄養士も当社の正社員として採用。

MEMO

4、主な設備投資の進捗

(1) プラネット北関東 増築

(2) プラネット東北 増築

(3) プラネット南関東 建替



物流センター名	(1) プラネット北関東	(2) プラネット東北	(3) プラネット南関東
住所	群馬県伊勢崎市	宮城県仙台市	神奈川県伊勢原市
増築・建替後の面積・構造	増築後社屋全体: 敷地面積 10,000 坪 延床面積 7,695.5 坪 (増築面積 2,993 坪) 増築棟 6 階建	増築後社屋全体: 敷地面積 3,905 坪 延床面積 8,587 坪 (増築面積 5,356 坪) 増築棟 6 階建	敷地面積: 3,662 坪 延床面積: 7,885.3 坪 構造: 地下 1 階(駐車場) 地上 4 階建、免震構造
投資予定総額	約 19 億円(建物・設備)	約 70 億円(建物・設備)	約 111 億円(建物・設備)
在庫予定アイテム数	13 万→50 万アイテム	10 万→50 万アイテム	10 万→50 万アイテム
完成予定時期	2019 年 7 月	2019 年 11 月	2020 年 5 月
導入予定設備 ※導入済設備	パレット自動倉庫 AutoStore(オートストア)※ BOD(ボックスオンデマンドシステム)※	バケット自動倉庫 AutoStore(オートストア) SAS(システムストリーマー) GAS(ゲート式仕分システム) BOD(ボックスオンデマンドシステム) I-Pack(アイパック)	バケット自動倉庫 AutoStore(オートストア) SAS(システムストリーマー) 電動パレットラック

(4) トラスコ オレンジブック.Com
24 時間対応開始



TRUSCO
オレンジブック.Com®

工場・作業現場のプロツール総合サイト

開始日: 2019 年 1 月 15 日

販売店様向け「注文」「見積」「返品」受付の
24 時間 365 日対応を開始いたしました。

(5) トラスコ AI オレンジレスキュー



開始日: 2019 年 2 月 1 日

社外リリース



↑ AI オレンジレスキューの検索回答例

日本 IBM 株式会社様の IBM Watson Explorer を基盤に構築され、自然言語(口語)の問合せに対して、関連のあるデータを超高速で抽出できるようにした新しい商品検索サービスです。

2018 年春より社内利用を開始し検索精度を高め、今回、音声入力機能やガイドチャット機能を追加導入し、「トラスコ オレンジブック.Com」の Web サイト内において、ご利用いただけるようになりました。

(6) 見積もりの自動化

2020 年頃に見積自動化開始予定

AIを使い自動的に最適な価格を計算し、自動的に迅速に回答します。

現在、1 日に約 5.0 万行ある見積りを自動化し、お客様へ返信スピードを上げサービスの向上を図ると共に、業務の効率化を進める。

(7) ユーザー直送機能強化

ネット通販企業様などの高度な要望に対応

ユーザー様の郵便番号をもとに、最寄りの物流センターからユーザー直送に対応することで納期の短縮。

当社の在庫情報や商品情報をリアルタイムに連携し、ユーザー様に開示することで購入までのプロセスを短縮。

MEMO

平成 30 年 12 月期(第 56 期) 決算のご報告

売上高 9.8%増 2,000 億円を突破、経常利益 0.4%増

平成 30 年(2018)12 月期(第 56 期) 経営成績

	第 55 期(前期)		第 56 期(当期)				
	実績	率	当初予算 →	修正後予算 →	実績	率	前年比
売上高	1,950 億 96 百万円	—	2,100 億円	2,130 億円	2,142 億 97 百万円	—	+9.8%
売上総利益	413 億 90 百万円	21.2%	443 億円	450 億円	454 億 91 百万円	21.2%	+9.9%
販売費及び一般管理費	271 億 14 百万円	13.9%	310 億円	314 億円	311 億 27 百万円	14.5%	+14.8%
営業利益	142 億 76 百万円	7.3%	133 億円	136 億円	143 億 64 百万円	6.7%	+0.6%
経常利益	145 億 81 百万円	7.5%	135 億 50 百万円	138 億 50 百万円	146 億 42 百万円	6.8%	+0.4%
当期純利益	101 億 73 百万円	5.2%	90 億 50 百万円	93 億円	97 億 22 百万円	4.5%	△4.4%
1 株当たり 当期純利益	154 円 28 銭	—	137 円 23 銭	141 円 03 銭	147 円 44 銭	—	△6 円 84 銭
1 株当たり配当金	39 円	—	34 円 50 銭	35 円 50 銭	37 円	—	△2 円
PB 商品売上高	401 億 44 百万円	20.6%	430 億円	430 億円	435 億 96 百万円	20.3%	+8.6%
設備投資額	144 億 23 百万円	—	197 億円	188 億 33 百万円	171 億 46 百万円	—	+27 億 23 百万円

販売ルート別実績

	売上高		売上総利益率	
	実績	前年比	率	前年比
ファクトリールート	1,691 億 22 百万円	+7.4%	20.8%	△0.1pt
e ビジネスルート	307 億 45 百万円	+26.1%	25.2%	△0.1pt
ホームセンタールート	134 億 66 百万円	+8.6%	17.9%	+0.4pt
その他(海外など)	9 億 63 百万円	+5.3%	20.2%	+0.8pt
全社合計	2,142 億 97 百万円	+9.8%	21.2%	—

売上高 2,142 億 97 百万円 / 前年比+9.8%

平成 30 年(2018)新規取扱商品の売上高は 82 億円です。 () 前年比

(1)ファクトリールート 1,691 億 22 百万円(+7.4%/+117 億円)

(2)e ビジネスルート 307 億 45 百万円(+26.1%/+63.6 億円)

{ 通販企業向け 234 億円(+29.1%/+52.8 億円)
 MRO サプライ 72 億円(+17.5%/+10.8 億円)

⇒電子購買向けの販売。接続企業数 312 社(+10 社)、接続工場数 1,057 工場(+65 工場)

(3)ホームセンタールート 134 億 66 百万円(+8.6%/+10.6 億円)

プロショップへの売上高 19.3 億円(+18.8%/+3 億円)

売上総利益 454 億 91 百万円(+9.9%) / 売上総利益率 21.2%(+0.0 ポイント) () 前年比

以下の要因のミックスにより売上総利益率は前年と同程度となりました。

【利益率上昇要因】

(1)ナショナル・ブランド(NB)商品粗利率 第 55 期 17.4% → 第 56 期 17.5% 0.1 ポイント上昇

【利益率減少要因】

(1)トラスコ オレンジブックの制作費用増加(+2 億円)により主にファクトリールートの利益率が△0.1 ポイント低下

(2)商品の価格改定の遅れにより、e ビジネスルートの利益率が△0.1 ポイント低下

販売費及び一般管理費 311 億 27 百万円／前年比+14.8%(約 40 億円増加、うち約 31 億円は以下が要因)()前年比

販管費の増減要因(増加額順)

(1)運賃荷造費 55 億 84 百万円(+19.1%/+8.9 億円)

①路線便出荷料・・・売上拡大による路線便の出荷量増加の影響(約+3.5 億円)

路線便の運賃値上による影響 (約+4.0 億円)

②備車料(契約配達便)・・・値上げ、売上増加に伴うスポット的な増便、便の大型化の影響など(約+0.6 億円)

(2)減価償却費 36 億 14 百万円(+31.5%/+8.6 億円)

主な増加内訳:プラネット埼玉建物、電気照明設備、物流機器など(5.2 億円)、トラスコ 商品データベース「ステラ」リプレイス(1.2 億円)、商品検索サイト「トラスコ オレンジブック.Com」リプレイス(1.2 億円)など。

(3)給与及び賞与 122 億 84 百万円 (+7.6%/+8.6 億円)

①社員給与及び賞与(+4.4 億円)・・・89 名増加。残業代は前年比約+0.5 億円。2018 年度新卒社員 118 名入社。

②パートタイマー給与及び賞与(+2.7 億円)・・・62 名増加。内、プラネット埼玉向け 43 名。

(4)広告宣伝費 6 億 46 百万円(+84.3%/+2.9 億円)

昨年 10 月放映開始の TV 東京「TRUSCO 知られざるガリバー」番組提供による増加。

(5)支払手数料 16 億 7 百万円(+22.1%/+2.9 億円)

商品検索サイト「トラスコ オレンジブック.Com」、商品データベース「ステラ」、ネット通販企業様とのデータ連携、物流機器導入などにより、システム等の保守点検費が増加。

(6)消耗品費 7 億 38 百万円(+40.3%/+2.1 億円)

プラネット埼玉稼働に伴う備品(コンテナ・台車等など)の費用。

(7)賞与引当金繰入額 62 百万円(△84.5%/△3 億 37 百万円)

支給条件未達により、業績連動型賞与の支給が発生せず費用減少。

その他減益の要因 ※()前年比

以下の要因で、当期純利益に前年比△6.2 億円の影響がありました。

(1)特別損失:①建替え中の「プラネット南関東」撤去費用を固定資産除却損として計上。(2 億 7 百万円)

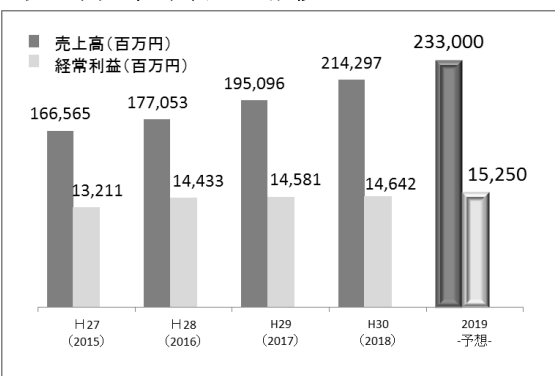
②ストックセンターへの建替え進行中の「旧豊橋支店」建物の減損損失を計上。(86 百万円)

(2)法人税 :第 55 期は税制優遇措置(所得拡大促進税制)などが適用され、当期純利益にプラスの影響がありましたが、今期 第 56 期の適用はありません。(3 億 30 百万円)

2019 年 12 月期(第 57 期)業績予想(非連結)

	金額	率	前年比
売上高	2,330 億円	-	+8.7%
売上総利益	493 億円	21.2%	+8.4%
販売費及び一般管理費	343 億円	14.7%	+10.2%
営業利益	150 億円	6.4%	+4.4%
経常利益	152 億 50 百万円	6.5%	+4.2%
当期純利益	103 億円	4.4%	+5.9%
1 株当たり当期純利益	156 円 19 銭	-	+8 円 75 銭
PB 商品売上高	470 億円	20.2%	+7.8%
設備投資額	200 億 12 百万円	-	+24 億 94 百万円

売上高・経常利益の推移



販売ルート別予算

	売上高		売上総利益率	
	金額	前年比	率	前年比
ファクトリールート	1,810 億円	+7.0%	20.7%	△0.1pt
e ビジネスルート	360 億円	+17.1%	25.0%	△0.2pt
ホームセンタールート	148 億円	+9.9%	17.6%	△0.3pt
その他(海外など)	12 億円	+24.5%	20.0%	△0.2pt
全社合計	2,330 億円	+8.7%	21.2%	-

1、販売費及び一般管理費増加の主な理由について

前年比+10.2%/約 31 億円増加予定。内 25.5 億円は以下が要因です。

主な増加要因 () 前年比

(1) 減価償却費の増加(約+12.6 億円)

主な増加内容

①プラネット埼玉 (約+3.4 億円)・・・建物 3 か月分、マテハン設備 9 か月分が増加

②EC サイト「トラスコ オレンジブック.Com」(約+2.6 億円)・・・8 か月分が増加

③第 57 期の新規設備投資 (約+3.7 億円)・・・プラネット東海・東関東・神戸・北関東・埼玉のマテハン設備、建物

④第 57 期の新規稼働システム (約+2 億円)・・・商品検索システム「AI オレンジレスキュー」など

(2) 運賃荷造り費の増加(約 7.4 億円)

出荷量の増加及び、運賃値上げにより増加。

(3) 支払手数料の増加(約+5.5 億円)

物流センターへのマテハン設備導入に伴う保守点検費用などの増加。

※その他、人件費については 4%程度の増加を見込んでいます。

2、連結決算開始のお知らせ

当社は、2010 年 9 月にタイに現地法人「トラスコナカヤマ タイランド」を、2015 年 1 月にインドネシアに現地法人「トラスコナカヤマ インドネシア」をそれぞれ設立いたしております。

当社業績に与える影響が軽微であったことから 2018 年 12 月期までは非連結子会社としていたものの、今後、資産、損益等の重要性が増すことが予想されることから、2019 年 12 月期よりそれぞれを連結の範囲に含め連結決算へ移行いたします。

第 57 期連結業績予想

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
通期	233,294	14,929	15,179	10,254	155 円 49 銭

【ご参考】各社単体の通期業績予想

(単位:百万円)

		売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
親会社	トラスコ中山(株)	233,000	15,000	15,250	10,300	156 円 19 銭
子会社	トラスコナカヤマ タイランド	700	14	14	10	—
子会社	トラスコナカヤマ インドネシア	309	△63	△63	△63	—

※1. 子会社各社の業績予想は、現地通貨単位での予想値を直近の為替レートにより円換算しております。

2. 連結業績予想は、親会社から子会社への商品販売を内部取引として消去する等の連結調整を行っております。

【問い合わせ先】経営企画部 経営企画・広報 IR 課 課長 片桐 武志、吉見 今日子

(TEL.03-3433-9840/FAX.03-3433-9881/MAIL.kyouko.yoshimi@trusco.co.jp)

MEMO
